

神戸大学大学院海事科学研究科 附属国際海事研究センター
第2回 海事安全管理部門ワークショップ

『海事安全管理に関係する人間と機械を中心とする研究と実践』ご報告

神戸大学大学院海事科学研究科 国際海事研究センター
海事安全管理研究部門長 准教授 瀧 真輝

2016年9月20日、昨年に引き続き、海事安全管理部門ワークショップを開催しました。当日は台風による悪天候でお越しいただけなくなった方が何人もおられ、申し訳ありませんでした。講師の方々、ご参加いただいた方におかれましては強風雨の中足をお運びいただき、ありがとうございました。

今回のワークショップでは、人間の認知と機械の誤操作の関係・漁業現場でのAIS活用方法の考察・操船者の他船認識の様子の分析・最新の船舶事故事例研修の狙いと方法についてご講演いただきました。それぞれのご講演の後には質疑応答の時間も設け、講演者以外の皆様からのご意見も頂き、活発な意見交換もできました。様々な角度から海事安全管理について考察する機会になりました。

【プログラム】

会場：神戸大学 深江キャンパス 4号館102教室

開会挨拶 神戸大学大学院国際海事研究センター 海事安全管理部門長 瀧 真輝



講演1. 安達 悠子, 東海学院大学心理学科
『機械の操作と認知』



講演2. 松本 浩文, 水産大学校
『漁業現場におけるAIS(船舶自動
識別装置)の有効活用』



講演3. 小西 宗,
神戸大学大学院海事研究科 博士前期課
『船舶交通における他船に関する
状況認識の特徴』



講演4. 伊藤 耕二, 川崎汽船研修所
『事故再発防止のための教育・訓練
～事故を風化させないために～』

閉会挨拶 海事安全管理部門長 瀧 真輝